

生産者よりのご挨拶

残暑お見舞い申し上げます

先月も同じ挨拶文だった気がしますが、阿蘇では 9 月に入ってからまさに「残暑」が続いています。8 月の冷夏がうそのように、暑い毎日です。

さて挨拶はさておきまして、9 月といえば、そう、稲刈りです！

1 2 日ごろに九州をかすめた大型台風の影響が心配されましたが、拍子抜けするくらいあっさり通過してくれたため、ほぼ予定通り米を収穫することができました。冷夏のため例年より多少収量が落ちましたが、味のほうはばっちりです。みなさんより一足先に「毒味」をした上での太鼓判ですから、ご安心ください。また、皆さんにお届けする分の量は確保できていますので、これまたご安心ください。皆様も新米の味が気になるでしょうから、どうぞ先をお読みになる前に、まずは新米を炊く準備をなさってください。

生産者にとっても、「新米」はやはり格別です。半年間、愛情を込めて育てたお米を初めて味わうのですから。稲を刈ったら乾燥して、籾摺り（もみをとる作業）をして、精米して、ようやく試食です。もちろん、おかずは食べずにまずはご飯だけの味を確かめます。お客様である皆様にお届けするお米ですから、うまくなかったらどうしよう、と緊張しながら「最初の一口」を食べるのです。よし、おいしいぞ。そう思った時の安心感というのは、なんと表現していいかわかりません。農業をやっていてよかったと思う瞬間です。

今年もせっせと雑草を食べてくれた合鴨たちは、甥夫婦が引き取って庭の池で飼っています。もみを乾燥させて摺ると、粒が小さかったり欠けてたりする「くず米」が出てくるのですが、新米を摺った時に出た「新しく米」を合鴨にもやりました。勢いよく食べていたのは、空腹のせいなのでしょうか、それともやはり新米はおいしいのでしょうか…。私にはわかりません。

我が家の稲は早々に刈り終わりましたが、専業農家である私は、隣近所の稲刈りも請け負っています。最初に収穫するのがコシヒカリで、ひと足遅れて「ひとめぼれ」。9 月の下旬に「あきげしき」という種類のお米を刈ります。からっとした天気が続いているので、稲刈りには絶好です。阿蘇山を見ながらコンバインに乗る毎日です。

今月は、修学旅行にやってきた長崎の小学生を 2 回受け入れました。何でも、農業体験をすることが修学旅行のコースに入っているそうで、1 回目は 6 人、2 回目は 9 人の小学生が我が家にやってきました。私は残念ながら相手をしている暇がないので、愛梨ちゃん（甥の嫁）にお任せ。小学生たちはキャーキャー言いながらキュウリの収穫や、稲を刈った後のワラ立てをしていましたが、一番喜んでいたのは軽トラックの荷台に乗って放牧中の牛を見に行ったときです。軽トラックの荷台というのは、大人が乗っても楽しいものです。まして都会の子供たちにとっては普段味わえない「大冒険」なのでしょう。

私にとっては長い長い 9 月ですが、無事我が家のお米が収穫できたこと、そして早速それを皆様にお届けすることができることを心から幸せに思っています。どうぞ新米をご賞味ください。そしてどうかご自愛くださいませ。

平成 15 年 9 月 18 日
おあしす米生産者 大津 勵志 他一同